

(第二表) 月 別 年 齡 別 (三ヶ年平均) [幼兒]

		一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	十	總	%			
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計				
幼	2	歲	男女計	201	223	258	277	289	255	251	212	155	118	118	166	2,523	254.62	
			男女計	190	196	260	252	244	238	215	223	154	102	103	138	2,315	233.63	
	3	歲	男女計	86	88	111	112	107	101	148	148	122	85	63	66	1,237	124.84	
			男女計	84	87	109	94	91	104	140	140	101	75	73	61	1,159	116.96	
	4	歲	男女計	64	55	68	66	62	77	102	102	77	59	46	43	821	82.85	
			男女計	57	53	59	60	65	73	105	104	83	57	46	46	808	81.54	
	5	歲	男女計	36	34	33	40	40	39	71	60	52	37	27	29	498	50.26	
			男女計	35	34	38	38	40	47	71	73	61	41	34	36	548	55.30	
	兒	合	計	男女計	387	400	470	495	498	472	572	522	406	299	254	304	5,079	512.56
				男女計	366	370	466	444	440	462	531	540	399	275	256	281	4,830	487.43
	兒	%	男女計	男女計	75.99	77.71	94.46	94.76	94.66	94.26	111.31	107.17	81.24	57.93	51.47	59.04	1,000.00	—
				男女計	38.05	40.37	47.43	49.95	50.26	47.63	57.73	52.68	40.97	30.17	25.63	30.68	512.56	—









(第七表)

## 總死亡ト幼兒死亡(三ヶ年平均)〔幼兒〕

	人	口			總死亡數			幼兒死亡數			人口千ニ對スル 幼兒死亡ノ割合			總死亡千ニ對スル 幼兒死亡ノ割合		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
東 京 市	麴町區	20,059	21,706	54,065	440	386	826	43	41	84	1.44	1.66	1.54	97.72	106.22	101.69
	神田區	73,311	51,067	124,411	1,011	814	1,855	142	135	277	1.94	2.64	2.23	140.45	159.95	149.33
	日本橋區	61,069	40,833	101,002	616	521	1,136	71	70	141	1.16	1.71	1.38	115.45	134.36	124.12
	京橋區	65,671	49,553	115,227	930	760	1,690	92	83	175	1.40	1.67	1.52	98.92	109.21	103.55
	芝區	93,055	76,276	169,331	1,719	1,469	3,188	203	185	388	2.18	2.43	2.29	118.09	125.94	121.71
	麻布區	45,535	41,659	87,214	705	624	1,329	77	72	149	1.69	1.73	1.71	109.22	115.38	112.11
	赤坂區	31,196	28,052	59,243	412	388	800	44	46	90	1.41	1.64	1.52	106.80	118.56	111.25
	四谷區	38,604	37,075	75,679	848	721	1,569	115	105	220	2.98	2.83	2.91	135.56	145.63	140.22
	牛込區	67,969	60,639	128,608	1,090	999	2,089	111	108	219	1.63	1.78	1.70	101.83	108.10	104.83
	小石川區	79,757	72,457	152,214	1,453	1,301	2,754	159	158	317	1.99	2.18	2.08	109.43	121.45	115.11
	本郷區	70,560	62,958	133,518	1,506	1,314	2,820	186	165	351	2.64	2.62	2.63	123.51	125.57	124.47
市	下谷區	91,705	78,520	170,225	1,682	1,397	3,079	214	192	406	2.33	2.45	2.39	127.23	137.44	131.86
	淺草區	121,921	106,106	228,027	2,081	1,892	3,973	295	255	550	2.42	2.40	2.41	141.76	134.78	138.43
	本所區	112,055	86,962	199,017	1,697	1,553	3,250	221	203	424	1.97	2.33	2.13	130.23	130.71	130.46
	深川區	85,025	63,494	153,519	1,396	1,214	2,610	174	156	330	2.05	2.28	2.15	124.64	128.50	126.44
	小計	1,067,473	885,357	1,952,830	17,594	15,383	32,977	2,147	1,974	4,121	2.01	2.23	2.11	122.03	128.32	124.97
隣 五 郡	荏原郡	266,327	245,596	511,923	4,735	4,331	9,066	527	524	1,051	1.98	2.13	2.05	111.30	120.99	115.92
	豐多摩郡	242,461	224,345	466,809	4,339	3,875	8,214	461	432	893	1.90	1.93	1.91	106.25	111.48	108.72
	北豐島郡	341,267	313,332	654,599	6,882	6,024	12,906	848	828	1,676	2.48	2.64	2.56	123.22	137.45	129.86
	南足立郡	46,217	45,572	91,789	894	931	1,825	115	117	232	2.49	2.57	2.53	128.63	125.67	127.12
	南葛飾郡	174,619	172,293	346,912	3,666	3,302	6,968	494	469	963	2.83	2.72	2.78	134.75	142.04	138.20
小計	1,070,894	1,001,138	2,072,032	20,516	18,463	38,979	2,445	2,370	4,815	2.28	2.37	2.32	119.18	128.36	123.53	
三 多 摩 郡	西多摩郡	46,219	47,430	93,649	945	905	1,850	145	130	275	3.14	2.74	2.94	153.43	143.64	148.65
	南多摩郡	41,904	42,391	84,295	874	822	1,696	112	120	232	2.67	2.83	2.75	128.14	145.98	136.79
	北多摩郡	65,498	63,079	128,577	1,237	1,141	2,378	155	166	321	2.37	2.63	2.50	125.30	145.49	134.99
小計	153,621	152,900	306,521	3,056	2,868	5,924	412	416	828	2.68	2.72	2.70	134.82	145.05	139.77	
郡計平均	1,224,515	1,154,038	2,378,553	23,572	21,331	44,903	2,857	2,786	5,643	2.33	2.41	2.37	121.20	130.61	125.67	
八 王 子 市	21,940	23,156	45,096	428	428	856	50	52	102	2.28	2.25	2.26	116.82	121.50	119.15	
島	伊豆七島	13,262	14,500	27,762	258	224	482	22	16	38	1.66	1.10	1.37	85.27	71.43	78.84
	小笠原諸島	3,185	2,634	5,819	41	36	77	3	2	5	0.94	0.76	0.86	73.17	55.56	64.94
嶼 小計	16,447	17,134	33,581	299	260	559	25	18	43	1.52	1.05	1.28	83.61	69.23	76.92	
合 計	2,330,375	2,079,635	4,410,060	41,893	37,402	79,295	5,079	4,830	9,909	2.18	2.32	2.25	121.24	129.14	124.96	

### 第三編 總括

#### 第一章 乳兒

一、東京府ニ於ケル三ヶ年平均ノ乳兒死亡ハ、男一〇、六八三人、女八、六六九人、計一九、三五二人ニシテ、女一〇〇人ニ對シ男一二三・二人ノ死亡割合ナリ。

地域別ニ見ルニ、隣接五郡五・三七割、東京市三・七割、兩地域合計九・〇七割ノ多數ニシテ、多摩三郡〇・七六割、八王子市〇・二割、島嶼〇・〇七割ナリトス。

1 月齡別ニ見タル死亡ハ「一ヶ月」以内死亡三・七割、「二ヶ月」以内死亡一・三割ニシテ、生後二ヶ月間ノ死亡乳兒死亡ノ五割ヲ占ムル多數ナリトス。

「一ヶ月」以内死亡ヲ日齡別ニ見ルニ生後五日以内ノ死亡ハ四・二割ニシテ、乳兒死亡ノ一・六割ニ相當シ、日齡ノ増加ニ從ヒテ死亡ノ減少スルヲ見ルベシ。

2 季節別ニ見ル乳兒死亡ハ冬季三・一割、春季二・七割、夏季二・二割、秋季二・〇割ノ順位ヲ示セリ、更ニ月別ニ見ルニ一月、二月、三月ハ何レモ一・〇割以上ノ高率ニシテ、四月ヨリ漸次低率ニ向ヒ九月最モ低ク、十月ヨリ率ノ高昇セルヲ見ル。

3 病類別ニヨリテ見ルニ、畸形先天性弱質及乳兒固有ノ疾患第一位ニシテ二・八割、下痢及腸炎二・〇割、肺炎及氣管支肺炎一・七割、脚氣〇・七割、急性氣管支炎〇・五割、麻疹、百日咳ヲ合シテ〇・五割弱、腦膜炎〇・四割弱

等ニシテ、急性法定傳染病ハ甚ダ少數ナリトス。

4 死因ト季節トノ關係ヲ見ルニ、呼吸器系疾患及外因ニ因ル死亡ハ冬季、春季ノ候ニ多ク、消化器系疾患及腦膜炎、脚氣等ニ因ル死亡ハ、概シテ夏季ノ候ニ多キヲ見ルベシ。

5 總死亡率ハ人口千ニ付東京府平均一七・九八ニシテ、全國平均二〇・二二ニ比シテ低率ナリ、地域別ニアリテハ、多摩三郡、八王子市、隣接五郡ノ三地域ハ東京府平均ヨリ高率ニシテ、東京市、島嶼ノ二地域ハ府平均率ヨリモ低率ナリ。

6 出生率ハ人口千ニ付東京府平均三〇・三八ニシテ、全國平均三四・四九ニ比シテ其率低シ、地域別ニアリテハ多摩三郡、島嶼、隣接五郡ハ府平均率ヨリモ高ク、八王子市、東京市ノ二地域ハ府平均ヨリモ低率ナリ。

7 人口増加率ハ東京府平均一二・四〇ニシテ、全國平均一四・二七ヨリモ其率低シ、地域別ニ見ルニ多摩三郡、島嶼、隣接五郡ノ三地域ハ東京府平均ヨリ高キモ、東京市、八王子市ノ二地域ハ東京府平均ヨリ低位ニアリ。

8 人口千ニ對スル乳兒死亡率ハ東京府平均四・三九ニシテ、全國平均五・〇二ニシテ低率ナリ、地域別ニアリテハ隣接五郡、多摩三郡ハ府平均ヨリ高率ナルモ、八王子市、島嶼、東京市ノ三地域ハ府平均ヨリ低率ナリ。

9 總死亡千ニ對スル乳兒死亡率ハ東京府平均二四四・〇五ヲ示シ、全國平均二四七・七八ヨリモ其率低シ、地域別ニ見ルニ隣接五郡、多摩三郡ノ二地域ハ府平均ヨリ高

キモ、島嶼、八王子市、東京市ノ三地域ハ府平均率ヨリモ低シ。

10 出生百ニ對スル乳兒死亡率ハ東京府平均一四・四四ニシテ、全國平均一四・五〇ニ比シテ僅カニ低率ナリ、地域別ニアリテハ、隣接五郡、八王子市ノ二地域ハ府平均ヨリ高率ニシテ、東京市、多摩三郡、島嶼ノ三地域ハ府平均ヨリ低率ナリ。

11 上記ノ三項ヲ綜合スルニ、乳兒死亡率ノ高キハ隣接五郡ナリ、他ノ四地域ニアリテハ對比ノ種目ニヨリテ異ナルモ、大體的ニハ多摩三郡ハ前者ニ次ギ、東京市ハ低位ニアリ、而シテ八王子市並島嶼ハ多摩三郡ト東京市トノ中間ニ位スルヲ見ルベシ。

一、東京市ニ於ケル三ヶ年平均ノ乳兒死亡ハ、男三、九六二人、女三、二〇一人、計七、一六三人ニシテ、東京府乳兒死亡ノ三・七割ヲ占ム。

1 月齡別 ニ見タル死亡ハ「一ヶ月」以内ノ死亡ハ三・五割ノ多數ナルモ、月齡増加ト共ニ漸次死亡數ノ遞減スルヲ見ル。

「一ヶ月」以内ノ死亡ヲ日階級ニ見ルニ、生後「五日」以内ノ死亡ハ四・五割ニシテ、乳兒死亡ノ一・六割ニ當ルノ多數ナリトス、而シテ日齡ノ増加ト共ニ死亡率ノ減少ヲ示セリ。

2 季節別 ニ見タル死亡狀況ハ、冬季最も高ク三・一割、春季二・七割、夏季二・二割ノ順位ニシテ、秋季二・〇割ノ低率ナリトス、月別ニアリテハ一月ヨリ三月ニ至ル各月

實數割合低キヲ見ルベシ。

8 人口千ニ對スルノ乳兒死亡率ハ東京市平均三・六七ナリ、地區別ニ見ルニ商業地區三・〇三、住宅地區三・一五ニシテ市平均率ヨリ低キモ、混合地區三・九九、工業地區四・七八ニシテ市平均ヨリ高率ナリ。

9 總死亡千ニ對スル乳兒死亡率ハ東京市平均二・一七・二一ナリ、之ヲ地區別ニ見ルニ住宅地區ハ一七八・四二ニシテ市平均ヨリ低率ナルモ、混合地區二二一・一九、商業地區二二一・三二、工業地區二八七・七一等ニシテ何レモ平均ヨリ高率ナリ。

10 出生百ニ對スル乳兒死亡率ハ東京市平均一三・二四ナリ、地區別ニアリテハ住宅地區一一・二八、商業地區一一・九一ヲ示シ、市平均ヨリ低率ナルモ、混合地區一三・六九、工業地區一七・六五ニシテ市平均ヨリ高率ヲ示セリ。

11 以上ノ三項目ニ就キテ約言スレバ、乳兒死亡率ノ最多ナルハ工業地區ニシテ、混合地區之ニ亞ギ、商業地區、住宅地區ノ順位ヲ以テ其率ノ減少セルヲ見ルベシ。

一、隣接五郡ニ於ケル三ヶ年平均ノ乳兒死亡ハ、男五、七三〇人、女四、六六六人、計一〇、三九六人ニシテ、東京府乳兒死亡ノ五・四割ヲ占ムル多數ナリトス。

1 月齡別 ニ見タル乳兒死亡ハ「一ヶ月」以内三・七割、「二ヶ月」以内一・四割ニシテ、コノ二ヶ月ヲ合シテ乳兒死亡ノ過半数ヲ占ムルヲ見ル。「一ヶ月」以内死亡ヲ日階級ニ見ルニ、生後「五日」以

ハ略ボ同率ニシテ其率高ク、四月ヨリ漸減シテ九月ニ至リ最も低率ナルヲ見ル。

3 病類別 ニ見タル乳兒死亡中、畸形先天性弱質及乳兒固有ノ疾患二・八割、下痢及腸炎一・九割、肺炎及氣管支肺炎一・七割等ニシテ、コノ三病類合シテ六・四割ノ多數ナリトス、此等ニ次グハ脚氣、急性氣管支炎、腦膜炎、百日咳、麻疹、微毒、法定急性傳染病、外因死、結核性疾患等ノ順位ヲ示セリ。

4 總死亡率 ハ人口千ニ付、東京市ニ於ケル三ヶ年平均均率ハ一六・八九ヲ示セリ、之ヲ地區別ニ見ルニ混合地區一八・〇四、住宅地區一七・六五ニシテ、市平均率ヨリ高ク、工業地區一六・六二、商業地區一三・七一ニシテ共ニ市平均ヨリモ低率ナリトス。

5 出生率 ハ人口千ニ對シテ東京市平均率ハ二七・七〇ナリ、地區別ニ見ルニ混合地區二九・一四、住宅地區二七・九二ニシテ市平均率ヨリ高ク、工業地區二七・〇九、商業地區二五・四六ニシテ共ニ市平均率ヨリ低キヲ見ル。

6 人口増加 割合ハ東京市平均一〇・八一ナリ、地區別ニ見ルニ商業地區一一・七五、混合地區一一・一〇ニシテ市平均ヨリ高ク、工業地區一〇・四七、住宅地區一〇・二七ニシテ何レモ市平均ヨリ低シ。

7 死亡數 ヨリ見ル各地區ニ於ケル乳兒死亡ノ割合ハ、住宅地區四三・四一、商業地區四八・二二、混合地區一〇・五・四〇、工業地區一一・七・六九ヲ示セリ、即チ住宅、商業ノ二地區ハ混合、工業ノ二地區ニ比シテ、乳兒死亡ノ

内ノ死亡ハ四・〇割ノ多數ニシテ、乳兒死亡ノ一・五割ナリトス、以後日齡ヲ加フルニ從ヒテ死亡率ノ減少セルヲ見ルベシ。

2 季節別 ニ於ケル乳兒死亡ハ冬季三・一割、春季二・七割、夏季二・二割、秋季二・〇割ノ割合ナリトス、之ヲ月別ニ見ルニ十二月ヨリ一、二、三月ニ亘ル四ヶ月間ハ何レモ一・〇割以上ノ高率ニシテ、四月以降漸減シ、九月ニ至リテ最も低率ニシテ、十月ヨリ更ニ率ノ上昇ヲ示セリ。

3 病類別 ニ見ルニ畸形先天性弱質及乳兒固有ノ疾患二・八割、下痢及腸炎二・二割、肺炎及氣管支肺炎一・六割ノ三病類ヲ多數ナルモノトシ、乳兒死亡ノ六・六割ヲ占ム、此他主ナルモノハ脚氣〇・七割、急性氣管支炎〇・五割、腦膜炎〇・四割、百日咳〇・二二割、麻疹〇・二割、微毒〇・一八割、腎臟炎〇・一一割、外因死、法定急性傳染病各〇・〇九割、結核性疾患〇・〇七割等ナリトス。

4 總死亡率 ハ人口千ニ付五郡ノ三ヶ年平均均率ハ一八・八一ナリ、コレヲ郡別ニ見ルニ南葛飾郡二〇・〇九、南足立郡一九・八八、北葛飾郡一九・七二ニシテ何レモ五郡平均ヨリ高ク、荏原郡一七・七一、豊多摩郡一七・六〇ニシテ共ニ五郡平均ヨリ低率ナリ。

5 出生率 ヲ見ルニ人口千ニ對シテ五郡平均率ハ三二・四六ヲ示セリ、郡別ニ見ルニ南足立郡三四・四二、南葛飾郡三二・九五、北葛飾郡三一・六六ニシテ、三郡共ニ五郡平均率ヲ超エ、荏原郡三〇・七四、豊多摩郡三〇・二七ノ二郡ハ共ニ五郡平均ヨリ低率ナリトス。



- 6 人口増加 割合ハ五郡平均一二・六五ヲ示セリ、郡別ニアリテハ北豊島郡一・九四ニシテ五郡平均ヨリ低キモ他ノ四郡ハ何レモ五郡平均ヨリ高シ。
- 7 死亡實數 ヨリ見タル各郡ニ於ケル乳兒死亡ハ、北豊島郡三・四割、荏原郡二・二割、南葛飾郡二・一割、豊多摩郡一・七割ノ順位ニシテ、南足立郡ハ僅ニ〇・五割ヲ示セリ。
- 8 人口千ニ對スル乳兒死亡率ハ五郡平均五・〇二ナリ、之ヲ郡別ニ見ルニ南葛飾郡六・四一、南足立郡五・七二、北豊島郡五・四三ニシテ何レモ五郡平均ヲ超ヘ、荏原郡四・五四、豊多摩郡三・七九ノ二郡ハ五郡平均ヨリ低率ナリ。
- 9 總死亡千ニ對スル乳兒死亡率ハ五郡平均二六六・七一ヲ示セリ、郡別ニ見ルニ南葛飾郡三一九・〇三、南足立郡二八七・六七、北豊島郡二七五・三〇ニシテ五郡平均ヨリ其率高ク、荏原郡二五六・三四、豊多摩郡二一五・六一ニシテ五郡平均率ヨリモ低キヲ見ル。
- 10 出生百ニ對スル乳兒死亡率ハ五郡平均一五・九五ヲ示セリ、郡別ニ見ルニ南葛飾郡一九・四五、北豊島郡一七・一四、南足立郡一六・六二ニシテ、五郡平均率ヨリモ高ク、荏原郡一四・七七、豊多摩郡一二・五四ニシテ共ニ五郡平均ヨリ低率ナリトス。
- 11 上記ノ三項目ニ就キテ約言スルニ、乳兒死亡率ノ高低ハ、南葛飾郡、南足立郡、北豊島郡、荏原郡、豊多摩郡ノ順位ニアラヲ見ルベシ。

- 一、市郡比較 東京市部ト隣接五郡トニ於ケル乳兒死亡ニ就キテ比較對照スルニ左ノ如シ。
- 1 月齡別 ニ見ルニ「一ヶ月」以內ノ死亡ハ市部三・五二割、郡部三・七〇割、「二ヶ月」以內ノ死亡ハ市部一・三〇割、郡部一・三七割、「三ヶ月」以內ノ死亡ハ市部〇・八九割、郡部〇・九〇割、「四ヶ月」以內ノ死亡ハ市部〇・六二割、郡部〇・六五割ヲ示セリ、即チ生後ヨリ四ヶ月以內ニ於ケル各月齡別ニ見ル乳兒死亡ハ、市部ハ郡部ニ比シテ死亡率低シ、「五ヶ月」以內ノ死亡ハ市部〇・五四割、郡部〇・五二割、「六ヶ月」以內ノ死亡ハ市部〇・五一割、郡部〇・四九割、「六ヶ月」十二ヶ月」以內ノ死亡ハ市部二・六三割、郡部二・三六割等ヲ示セリ、即チ生後五ヶ月以降ノ乳兒死亡ハ、市部ハ郡部ニ比シテ高率ナルヲ見ル。
- 「一ヶ月」以內ノ死亡ヲ日齡別ニ見ルニ、生後「五日」以內ノ死亡ハ市部一・五八割、郡部一・四九割ニシテ市部ハ郡部ヨリ高率ナルモ、爾後ノ日齡階級ニアリテハ何レモ郡部ハ市部ヨリモ其率高キヲ見ル。
- 2 季節別 ニヨリテ市郡ヲ比較スルニ季節及ビ月別共ニ順位並率ノ高低相同ジク、兩地域ニ於テ著シキ相違ヲ認め難シ。
- 3 病類別 ニヨリテ兩地域ヲ比較スルニ、畸形先天性弱質及乳兒固有ノ疾患ハ市郡共ニ同率ナルモ、下痢及腸炎ハ市部一・八九割ニシテ、郡部一・一九割ニ比シテ低率ヲ示セリ、急性呼吸器系ノ疾患、麻疹、百日咳、急性法定傳染病、結核性疾患、外因死、微毒等ハ何レモ市部ハ

- 郡部ヨリ其率高キヲ見ル。
- 4 總死亡率 兩地域ニ於ケル三ヶ年平均ノ人口千ニ對スル總死亡率ハ東京市部ハ一六・八九ニシテ、五郡平均一八・八一ニ比シテ市部低率ヲ示セリ、而シテ府平均率ハ一七・九八ヲ示シ兩者ノ中間ニ位セリ。
- 5 出生率 ハ人口千ニ對シ市部ハ二七・七〇ヲ示シ、郡部ハ三一・四六ニシテ市部ニ比シ四・四六ノ高率ニアリ、府平均率ハ三〇・三八ヲ示シ、市郡ノ中間ニアルヲ見ルベシ。
- 6 人口増加 ノ割合ヲ比較スルニ、郡部ハ一二・六五ニシテ、市部ハ一〇・八一ヲ示シ、郡部ハ市部ニ比シテ人口自然増加ノ割合大ナルヲ見ル、而シテ府平均ハ一二・四〇ヲ示セリ。
- 7 人口千ニ對スル乳兒死亡率ハ市部三・六七ニシテ、郡部五・〇二ヲ示セリ、即チ郡部ハ市部ニ比シテ高率ヲ示セリ、府平均率ハ四・三九ニシテ市郡ノ中間ニアリ。
- 8 總死亡千ニ對スル乳兒死亡率ハ、市部二・一七・二ニシテ、郡部二・六六・七二ナリ、即チ市部ハ郡部ニ比シテ其率低シ、府平均率ハ二・四四・〇五ヲ示シ兩者ノ中間ニ位セリ。
- 9 出生百ニ對スル乳兒死亡率ハ、市部一・三・二四ニシテ郡部一・五・九五ヲ示セリ、即チ市部ニ比シ郡部ニ於テ死亡率高キヲ見ル、府平均率ハ一・四・四四ニシテ市郡ノ中間ニアリ。
- 10 以上6ヨリ9ニ及ブ四項目ニ就キテ約言スレバ、人口

- 自然増加ノ割合ニアリテ、市部ハ郡部ニ比シテ成績良好ナラザルモ、乳兒死亡ノ關係成績ニアリテ郡部ハ市部ニ比シテ其成績不良ナリトス、而シテ府平均率ハ何レモ市部ト郡部ノ中間ニ位スルヲ見ルベシ。
- 一、多摩三郡 ニ於ケル三ヶ年平均ノ乳兒死亡ハ、男八〇八人、女六六一人、計一、四六九人ニシテ、東京府乳兒死亡ノ〇・七六割ニ過ギザル少數ナリトス。
- 1 月齡別 ニ乳兒死亡ヲ見ルニ「一ヶ月」以內ノ死亡ハ四・八割ノ高率ヲ示シ、從テ爾後ノ各月階級ニ於ケル死亡ハ著シク減少セルヲ見ル。
- 「一ヶ月」以內ノ死亡ヲ日齡別ニ見ルニ、生後「五日」以內ノ死亡ハ三・九割ノ多數ニシテ、乳兒死亡ノ一・九割ヲ占ム、「六日」十日」ノ五日間ニ於ケル死亡ハ「十六日」一ヶ月」ノ十五日間ニ於ケル死亡ト殆ンド同率ニシテ、二・三割ヲ示セリ。
- 2 季節別 ニアリテハ冬季三・二〇割、春季二・六一割、夏季二・一七割、秋季二・〇五割ノ順位ニアリ、月別ニアリテハ一月ヨリ三月ニ至ル三ヶ月ハ死亡率高ク、四月以降ハ低率ニシテ昇降ノ差著シキヲ見ルベシ。
- 3 病類別 ニアリテハ畸形先天性弱質及乳兒固有ノ疾患三・二割、急性呼吸器系疾患二・三一割、下痢及腸炎一・八四割ノ順位ニシテ且ツ多數ナルモノナリ。ヨノ他腦膜炎〇・四六割、麻疹、百日咳合計〇・三一割、法定急性傳染病、腎臟炎、微毒等〇・一〇割、外因死、脚氣〇・〇七割等ノ順位ニシテ、結核性疾患ハ僅ニ〇・〇五割ニ過ギ

ズ。

- 4 總死亡率 ハ人口千ニ對シテ三郡ニ於ケル三ヶ年平均總死亡率ハ一九・三三ナリ、之ヲ郡別ニ見ルニ、南多摩郡二〇・一二、西多摩郡一九・七五ニシテ三郡平均率ヨリ高ク北多摩郡ハ一八・四五ニシテ三郡平均ヨリ低率ナリ。
- 5 出生率 ハ人口千ニ付三郡平均四〇・二五ニシテ著シク高率ナリ、郡別ニアリテハ西多摩郡四一・二一、北多摩郡四〇・〇五ニシテ共ニ三郡平均高ク、南多摩郡ハ三八・六五ニシテ三郡平均ヨリ其率低シ。
- 6 人口増加 ノ割合ハ三郡平均二〇・九二ナリ、南多摩郡ハ一八・五三ニシテ三郡平均ヨリ低キモ、北多摩郡二一・五六、西多摩郡二一・四六ニシテ共ニ三郡平均ヨリ高キヲ見ル。
- 7 死亡實數 ヨリ見タル各郡ノ乳兒死亡ハ、北多摩郡四・〇割、西多摩郡三・〇割、南多摩郡二・九割ノ比ナリトス。
- 8 人口千 ニ對スル乳兒死亡率ハ三郡平均四・七八ナリ、郡別ニ見ルニ南多摩郡ハ五・一〇ニシテ三郡平均ヲ超ヘ、西多摩郡四・七五、北多摩郡四・六〇ノ二郡ハ共ニ三郡平均ヨリ低率ナリ。
- 9 總死亡千 ニ對スル乳兒死亡率ハ三郡平均二四七・九七ナリ、各郡別ニ見ルニ北多摩郡二五〇・六三、南多摩郡二五三・五四ニシテ共ニ三郡平均ヲ超ヘ、西多摩郡二四〇・五四ニシテ三郡平均ヨリ其率低シ。
- 10 出生百 ニ對スル乳兒死亡率ハ三郡平均一一・九一ナ

- シ、此他ハ腦膜炎、〇・九三割、結核性疾患〇・五七割、腎臓炎〇・二六割、急性氣管支炎〇・二五割、外因死〇・一八割等ノ順位ニアリトス。
- 4 死因ト年齢 トノ關係就ニ特定ナル病類ニ就キテ之ガ年齡關係ヲ見ルニ次ノ如シ。  
二歳階級 ニアリテハ肺炎及氣管支肺炎、下痢及腸炎、麻疹及百日咳、腦膜炎、急性法定傳染病、結核性疾患等ノ順位ヲ示セリ。  
三歳階級 ニアリテハ急性法定傳染病、肺炎及氣管支肺炎、下痢及腸炎、麻疹及百日咳、腦膜炎、結核性疾患、腎臓炎等ノ順位ニアリ。  
四歳階級 ニアリテハ急性法定傳染病、下痢及腸炎、肺炎及氣管支肺炎、腦膜炎、結核性疾患、麻疹及百日咳、腎臓炎等ノ順位ニアリ。  
五歳階級 ニアリテハ急性法定傳染病、肺炎及氣管支肺炎、結核性疾患、腦膜炎、下痢及腸炎、麻疹及百日咳、腎臓炎等ノ順位ヲ示セリ。  
急性法定傳染病、腦膜炎、結核性疾患、腎臓炎、外因死等ノ病類ニ屬スルモノハ、年齡ノ増加ニ從ヒテ死亡率ノ増加ヲ示セルモ、麻疹、百日咳、急性氣管支炎、肺炎及氣管支肺炎、下痢及腸炎、微毒、脚氣等ノ病類ニアリテハ年齡ノ進ムト共ニ死亡率ノ漸減スルヲ見ル。
- 5 死因ト季節 トノ關係ヲ見ルニ、呼吸器系疾患ハ春夏秋冬ニ、消化器系疾患ハ夏季ニ多キハ乳兒ト一致スルモ幼兒期ニ多數ナル急性法定傳染病ニ就キテ見ルニ「デフ

六〇

リ、郡別ニ見ルニ南多摩郡一一・九二ニシテ三郡平均ト殆ト同率ナルモ、北多摩郡一一・五四、西多摩郡一一・五三ニシテ共ニ三郡平均ヨリ低率ナリトス。

11 上記ノ三項ヲ要約スルニ、乳兒死亡率ノ高キハ南多摩郡、北多摩郡、西多摩郡ノ順位ナリトス。

### 第二章 幼 兒

- 一、東京府 ニ於ケル三ヶ年平均ノ幼兒死亡ハ、男五、〇七九人、女四、八三〇人、計九、九〇九人ニシテ、女一〇〇人ニ對シ男一〇五・二人ノ死亡割合ナリ。
- 地域別ニ見ルニ、隣接五郡四・八六割、東京市四・一六割、兩地域合計九・〇二割ノ多數ヲ占メ多摩三郡〇・八四割、八王市〇・一割、島嶼〇・〇四割ヲ示セリ。
- 1 年齢別 ニヨル幼兒死亡ヲ見ルニ、二歳階級四・八八割、三歳階級二・四二割、四歳階級一・六五割、五歳階級一・〇六割ヲ示セリ。幼兒死亡ノ女一〇〇人ニ對スル男ノ割合ハ、年齢ノ増加ト共ニ男死亡ノ割合ヲ減ジ、五歳階級ニ至リテハ女死亡ハ男死亡ヨリ超過スルヲ見ルベシ。
- 2 季節別 ニヨル幼兒死亡ハ夏季三・一割、春季二・八割、冬季二・一割、秋季一・九割ノ順位ニアリ、更ニ月別ニ見ルニ、七月、八月ハ其率高ク共ニ一・〇割以上ヲ示シ、十一月最モ低率ニシテ〇・五二割ヲ示セリ。
- 3 病類別 ニヨル幼兒死亡ハ、肺炎及氣管支肺炎二・一割、麻疹、百日咳合計一・一五割ヲ多數ナルモノトナ

- テリア」ハ春夏秋冬ニ、以外ノ傳染病ハ夏季ニ多シ、外因死ニアリテハ夏秋ノ季節ニ多クシテ、乳兒外因死ノ冬季ニ多キトヲ異ル點ナリトス。
- 6 人口千 ニ對スル幼兒死亡率ハ東京府平均二・二五ニシテ、全國平均二・六六ニ比シテ低率ナリ、地域別ニ見ルニ、多摩三郡二・七〇、隣接五郡二・三二、八王子市二・二六ニシテ府平均ヨリ其率高ク、東京市二・一一、島嶼一・二八ニシテ共ニ府平均ヨリ低率ナリ。
- 7 總死亡千 ニ對スル幼兒死亡率ハ、東京府平均二・二四、九六ニシテ、全國平均一・三一・五〇ニ比シ其率低シ、地域別ニ見ルニ、多摩三郡一・三九・七七、東京市一・二四・九七ニシテ共ニ府平均率ヲ超ヘ、隣接五郡一・二三・五三、八王子市一・一九・一五、島嶼七六・九二ヲ示シ何レモ府平均率ヨリ低キヲ見ルベシ。
- 8 前二項ヲ約言スルニ、幼兒死亡率ノ高キハ、多摩三郡ニシテ、島嶼ハ其率低シ、他ノ三地域ニアリテハ、對比ノ種目ニヨリテ一様ナラズ。
- 一、東京市 ニ於ケル三ヶ年平均ノ幼兒死亡ハ男二、一四七人、女一、九七四人、計四、一一一人ニシテ、東京府幼兒死亡ノ四・一六割ノ多數ナリトス。
- 1 年齢別 ニヨル幼兒死亡ハ、二歳階級ノモノハ四・八七割ノ多數ヲ占メ、三歳階級二・三五割、四歳階級一・六六割、五歳階級一・一三割ヲ示セリ。
- 男女死亡ノ割合ハ二歳ヨリ四歳階級ニアリテハ男死亡ハ女死亡ヲ超過スルモ、五歳階級ニアリテハ女死亡ハ男死

六一

亡ヨリ多シ。

2 季節別 ニヨル幼児死亡ハ春夏ノ二季ハ共ニ三・〇割ヲ示シ、冬季二・二割、秋季一・九割ナリ、之ヲ月別ニ見ルニ、大體ニ於テ、三月ヨリ八月ニ至ル各月ハ一・〇割内外ノ高率ヲ示シ、十一月ニアリテ最モ低率ナルヲ見ルベシ。

3 病類別 ニ見ルニ肺炎及氣管支肺炎二・一四割、急性法定傳染病一・七一割、下痢及腸炎一・六七割等ヲ多數ナルモノトス。此他ハ麻疹〇・八九割、腦膜炎〇・八六割、結核性疾患〇・七三割、百日咳〇・四九割、腎臟炎〇・二三割、急性氣管支炎〇・一九割、其他ノ呼吸器疾患〇・一六割、外國死〇・一三割等ノ順位ヲ示セリ。急性法定傳染病中ノ多數ハ赤痢、疫利、「デフテリア」等ナリトス。

4 死亡實數 ヨリ見タル各地區ニ於ケル幼児死亡ノ割合ハ、混合地區一〇八・七、工業地區九一・四八、住宅地區四九・五七、商業地區四七・九七ヲ示セリ、即混合、工業ノ二地區ハ、住宅、商業ノ二地區ニ比シテ乳兒死亡ノ實數割合高シ。

5 人口千 ニ對スル幼児死亡率ハ東京市平均二・一一ナリ、地區別ニ見ルニ混合地區二・三七、工業地區二・一四ニシテ市平均率ヨリ高ク、住宅地區二・〇七、商業地區一・七四ニシテ共ニ市平均ヨリ低率ナリトス。

6 總死亡千 ニ對スル幼児死亡率ハ東京市平均二・一四・三七ナリ、之ヲ地區別ニ見ルニ、混合地區一三二・二五、工業地區一二八・八四、商業地區一二六・六八ニシテ何レ

4 死亡實數 ヨリ見タル各郡ニ於ケル幼児死亡ハ北豊島郡三・四八割、荏原郡二・一八割、南葛飾郡二・〇〇割、豊多摩郡一・八六割、南足立郡〇・四八割ノ順位ヲ示セリ。

5 人口千 ニ對スル幼児死亡率ハ五郡平均二・三二ヲ示セリ、之ヲ郡別ニ見ルニ、南葛飾郡二・七八、北豊島郡二・五六、南足立郡二・五三ニシテ何レモ五郡平均率ヨリ高ク、荏原郡二・〇五、豊多摩郡一・九一ニシテ共ニ五郡平均ヨリ低率ナリトス。

6 總死亡千 ニ對スル幼児死亡率ハ五郡平均二・三・五三ナリトス、郡別ニ見ルニ南葛飾郡一三八・二〇、北豊島郡一二九・八六、南足立郡一二七・一二ヲ示シ五郡平均ヨリ高率ナリ、荏原郡一一一・五九、豊多摩郡一〇八・七二ニシテ共ニ五郡平均率ヨリ低キヲ見ルベシ。

7 以上二項ヲ綜合スルニ隣接五郡ニ於ケル幼児死亡率ハ南葛飾郡、北豊島郡、南足立郡、荏原郡、豊多摩郡ノ順位ニアルヲ見ルベシ。

一、市郡比數 東京市ト隣接五郡トニ於ケル幼児死亡ニ就キテ比較スルニ左ノ如シ。

1 年齢別 ニヨル幼児死亡ハ二歳階級ハ市部四・八七割、郡部四・九二割、三歳階級ハ市部二・三五割、郡部二・四二割、四歳階級ハ市部一・六六割、郡部一・六四割、五歳階級ハ市部一・一三割、郡部一・〇二割ヲ示セリ、即チ二歳、三歳ノ二階級死亡ハ市部ハ郡部ニ比シテ其率低キモ、三歳、四歳ノ二階級死亡ハ市部其率高シ。

2 季節別 ニヨリテ市部ノ幼児死亡ヲ見ルニ、秋冬二季

モ市平均率ヨリ高ク、住宅地區一一七・二五ニシテ何レモ市平均ヨリ低率ヲ示セリ。

7 以上ノ三項ヲ綜合スルニ、幼児死亡率高キハ混合地區、工業地區ニシテ之ニ次グハ住宅地區、商業地區ノ順位ニアリ、而シテ前後ノ各二地區ニ於ケル差ハ甚ダ大ナルヲ見ルベシ。

一、隣接五郡 ニ於ケル三ヶ年平均ノ幼児死亡ハ、男二・四四五人、女二・三七〇人、計四・八一五人ニシテ、東京府幼児死亡ノ四・六八割ノ多數ヲ占ム。

1 年齢別 ニヨル幼児死亡ヲ見ルニ、二歳階級ハ四・九二割ノ多數ニシテ、三歳階級二・四二割、四歳階級一・六四割、五歳階級一・〇二割ナリトス。男女ノ死亡割合ハ、二歳三歳ノ二階級ニアリテハ、男死亡ハ女死亡ヲ超ユルモ、四歳五歳ノ二階級ニアリテハ女死亡ハ男死亡ヲ超過セリ。

2 季節別 ニ見タル幼児死亡ハ、夏季三・一三割、春季二・八六割、冬季二・一一割、秋季一・八九割ノ順位ニアリ月別ニアリテハ七、八ノ二ヶ月ヲ高點トシテ其前後ニ下降シ、十一月ニ至リテ底止スル曲線ヲ描示セリ。

3 病類別 ニ見ルニ肺炎及氣管支肺炎二・二四割、下痢及腸炎二・〇六割、急性法定傳染病一・四〇割ヲ多數ナルモノトナシ、腦膜炎〇・九五割、麻疹〇・六八割、結核性疾患〇・五二割、百日咳〇・三三割、腎臟炎、急性氣管支炎各〇・二七割、外國死〇・二〇割、其他ノ呼吸器疾患等ノ順位ニアリ。

ハ市郡殆下同率ナリ、而シテ市部ハ春夏二季同率ナルモ、郡部ハ春季ニ低クシテ夏季ニ於テ高率ヲ示セリ、月別ニアリテハ、市郡何レモ最高七月、最低十一月ヲ示セルモ、他ノ各月ニ於テ多少ノ相違アルヲ見ルベシ。

3 病類別 ニツキテ市郡ヲ比較スルニ、急性法定傳染病竝ニ麻疹、百日咳等ノ傳染性疾患及結核性疾患ニアリテハ市部ハ郡部ニ比シテ其率高シ、腦膜炎、急性ノ呼吸器系疾患、下痢及腸炎、外國死等ノ諸病類ニアリテハ、郡部ハ市部ニ比シテ其率高ク、特ニ下痢及腸炎ニアリテ甚シキ高率ヲ示セリ。

4 人口千 ニ對スル幼児死亡率ヲ比較スルニ、東京市部ハ二・一一ニシテ隣接五郡平均二・三二ニ比シテ市部低率ナリ、而シテ東京府平均率ハ二・二五ニシテ、市部ト郡部ト中間ニアリ。

5 總死亡千 ニ對スル幼児死亡率ヲ見ルニ、市部ハ一一二四・九七ニシテ、東京府平均一一二四・九六ト近似セルモ、郡部一一二三・五三ニ比シテ、市部高率ナルヲ見ル。

6 以上二項ヲ約言スルニ、東京府平均率ハ何レモ市郡ノ中間ニアリ、市部ト郡部ト對比ノ種目ニヨリテ兩者其地位ノ顛倒セルヲ見ルベシ。

一、多摩三郡 ニ於ケル三ヶ年平均ノ幼児死亡ハ、男四・二一人、女四・一六人、計八・二八人ニシテ、東京府幼児死亡ノ〇・八四割ニ過ギザル少數ナリ。

1 年齢別 ニヨル幼児死亡ハ、二歳階級四・六九割、三歳階級二・七五割、四歳階級一・五九割、五歳階級〇・九七割

ヲ示セリ。  
男女死亡ノ割合ハ二歳三歳階級ニアリテハ男女殆下同數ナルモ、四歳五歳階級ニアリテハ女死亡ハ男死亡ヲ超過セリ。

2 季節別 ニ見ル幼児死亡ハ、夏季三・九割ニシテ五地域中ノ優ナルモノナリトス、春秋二季ハ共二・一割、冬季一・九割ヲ示セリ、更ニ月別ニ見ルニ七月、八月、九月ノ三ヶ月ハ何レモ一・〇割以上ノ高率ニシテ、十二月最モ低率ナリ、而シテ最高八月ハ最低十二月ノ三・五倍ヲ示セリ。

3 病類別 ニヨル幼児死亡ハ下痢及腸炎二・九七割、肺炎及氣管支肺炎二・一一割、腦膜炎一・一四割等多數ナルモノナリ、此他ハ急性法定傳染病〇・八六割、急性氣管支肺炎〇・四五割、麻疹及腎臟炎各〇・三四割、外因死〇・二九割、百日咳〇・二八割、結核性疾患〇・一五割等ナリ、而シテ下痢及腸炎、腦膜炎、外因死等ノ高率ニシテ、結核性疾患ノ低率ナルハ、他ノ地域ニ比シテ相違セル點ナリトス。

4 死亡實數 ヨリ見タル各郡ニ於ケル幼児死亡ハ、北多摩郡三・八八割、西多摩郡三・三二割、南多摩郡二・八〇割ノ割合ニアリ。

5 人口千ニ對スル幼児死亡率ハ三郡平均二・七〇ナリ、之ヲ郡別ニ見ルニ、西多摩郡二・九四、南多摩郡二・七五ヲ示シ共ニ三郡平均ヨリ高率ニシテ、北多摩郡ハ二・五〇ニシテ最モ低率ナリトス。

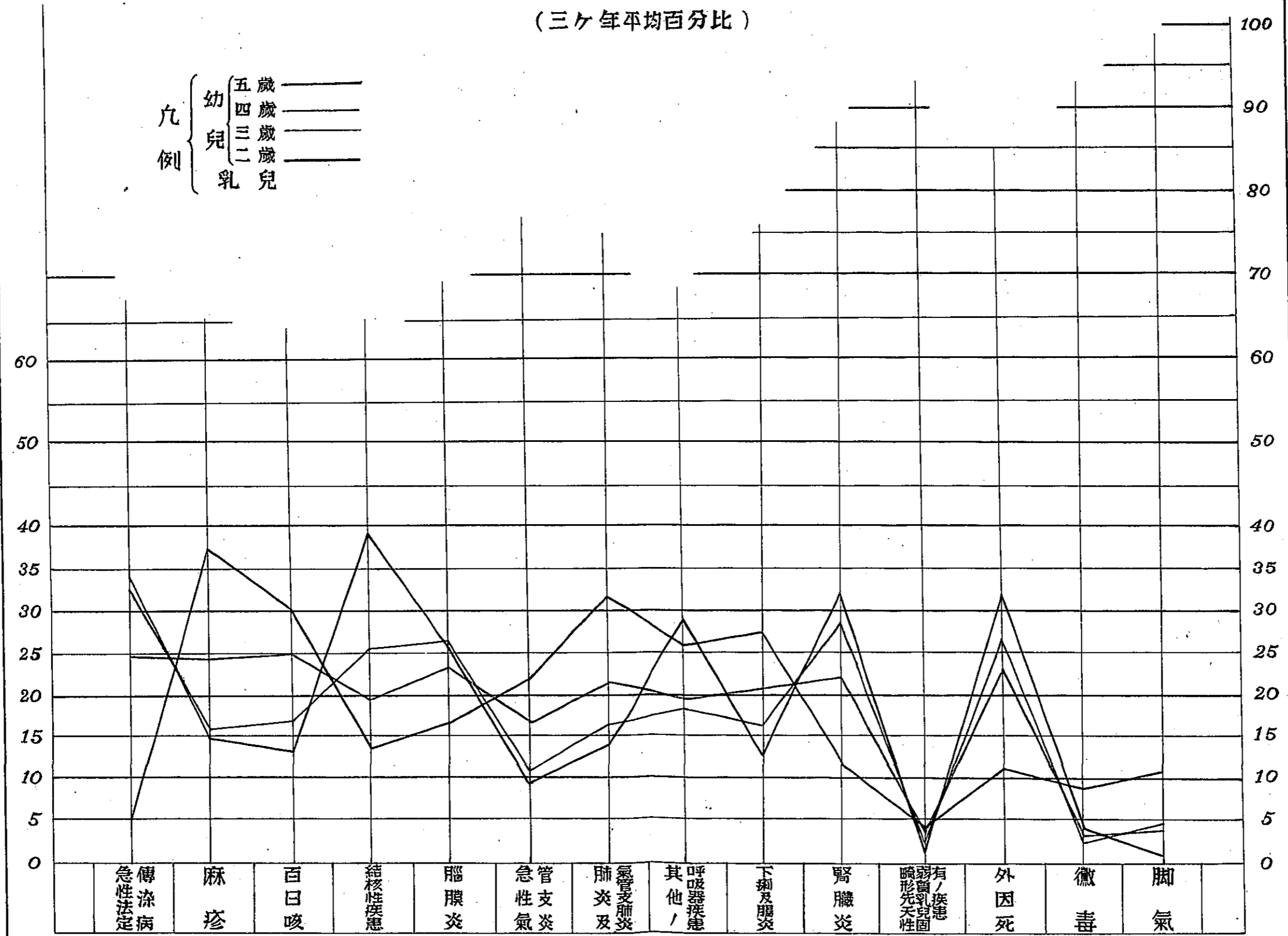
6 總死亡千ニ對スル幼児死亡率ハ三郡平均一三九・七

七ヲ示セリ、郡別ニ見ルニ、西多摩郡ハ一四八・六五ニシテ三郡平均ヨリ高率ナルモ、南多摩郡一三六・七九、北多摩郡一三四・九九ニシテ何レモ三郡平均率ヨリ低キヲ見ル。

7 以上二項ヲ綜合スルニ、幼児死亡率ノ高キハ西多摩郡ニシテ南多摩郡、北多摩郡ノ順位ヲ示セリ。

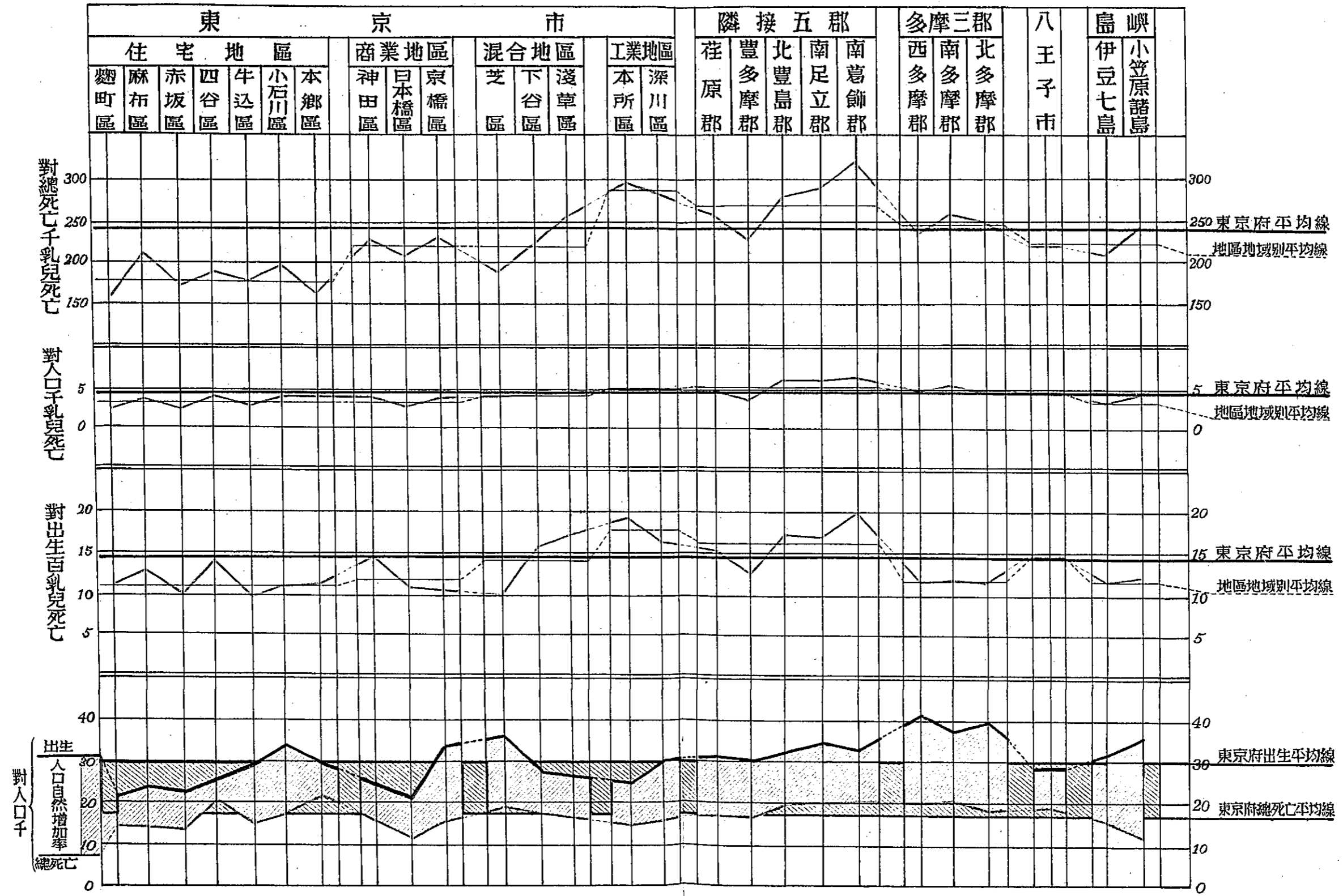
# 主要ナル死因ノ年齢比較

(三ヶ年平均百分比)

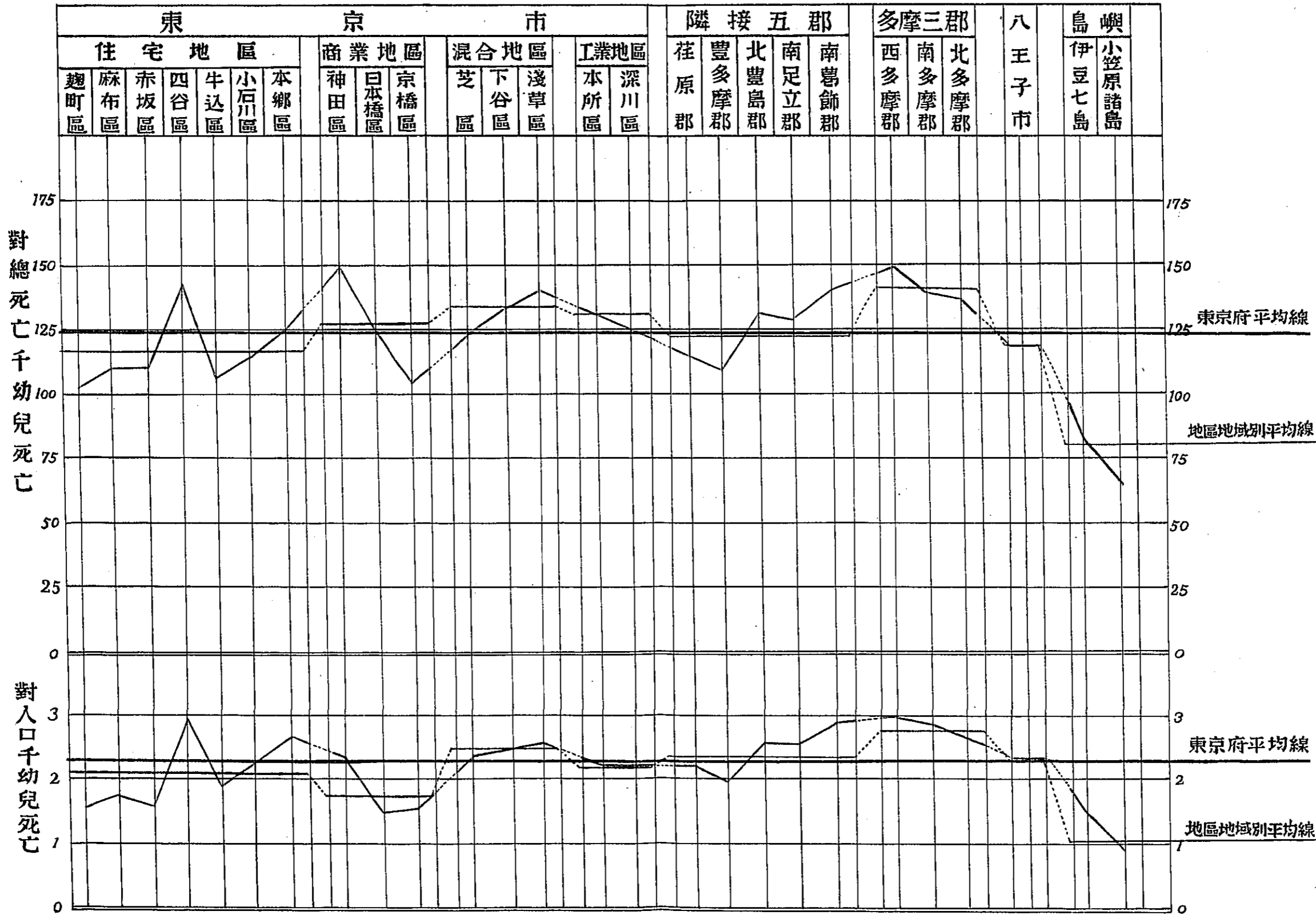


自大正十三年  
至昭和十五年

### 三ヶ年平均乳兒死亡並總死亡ト出生



自大正十三年至昭和十五年 三ヶ年平均幼兒死亡



大正八、九年  
平均

乳幼兒死因調查



大正八年平均乳幼児死因調査

目次

總説

乳兒篇

實數ヨリ見タル死亡ノ分布……………一  
 人口ヨリ見タル死亡ノ分布……………三  
 出生ヨリ見タル死亡ノ分布……………六  
 月齡並ニ日齡ヨリ見タル死亡……………一〇  
 季節別ヨリ見タル死亡……………三  
 病類別ヨリ見タル死亡……………三

幼兒篇

實數ヨリ見タル死亡ノ分布……………一五  
 人口ヨリ見タル死亡ノ分布……………一六  
 年齡別ヨリ見タル死亡……………一八  
 季節別ヨリ見タル死亡……………一九  
 病類別ヨリ見タル死亡……………二〇

總括

乳兒……………  
 幼兒……………

## 大正八、九年平均乳幼児死因調査

### 總説

本報告ハ彙ニ發表シタル大正八年同九年中ノ、管内ニ於ケル乳幼児死亡調査報告ニ基キテ、二ケ年間ノ平均成績ヲ求メ其當時ニ於ケル乳幼児ノ死亡狀況ヲ記述シタルモノナリ。

回顧スルニ大正八、九年ハ全國的ナル「インフルエンザ」ノ大流行アリテ、東京府一圓亦之ガ猛烈ナル侵襲ヲ蒙レリ、之ガタメニ總死亡ノ増加就中乳幼児ノ受ケタル影響ハ多大ナリキ、斯カル異常状態ニ加フルニ統計材料ニ不備ノ點アリテ、詳細ナル觀察ヲナシ得ザルヲ遺憾ナリトス、緒言ニ記載シタルガ如ク本報告ノ調査期間ハ二ケ年ニシテ、爾後三ケ年ヲ中絶シ、更ニ改メテ三ケ年ノ調査ヲ繼續シタリ、如斯前後ノ調査期間ニ長短アルヲ以テ、前期ト後期トノ平均成績ヲ比較スルコトノ妥當ナラザルハ勿論ナルモ、中絶ノ主因タル大震災ヲ一轉機トシテ、東京市並隣接郡部ニ於ケル人口密度其他諸種ノ點ニ著シキ動搖アリタルヲ以テ或意味ニ於テハ比較觀察モ亦徒事ナラザルベシト信ジ、各節ニ於テ前期後期ノ平均成績ヲ表示シテ對照ニ便セリ。

尙東京府ヲ地勢其他ノ關係ニヨリテ、五地域ニ分チ、更ニ一地域ヲ區郡別ニヨリテ觀察スベシ、然レドモ八王子市並島嶼ニアリテハ乳幼児ノ死亡實數少數ナルヲ以テ詳細ナル記述ヲ省略セリ。

### 乳兒篇

#### 實數ヨリ見タル死亡ノ分布

東京府ニ於ケル大正八、九年ノ二ケ年平均ノ乳兒死亡數ハ一八、五九四人ナリ、府ヲ五地域ニ分チテ各地域ニ於ケル死亡割合ヲ見ルニ、東京市ハ五・四六割ニシテ過半数ヲ占メ、隣接五郡ハ三・四七割ニシテ第二位ニアリ、之ニ次グハ多摩三郡〇・九割、八王子市〇・二二割、島嶼〇・〇五割ノ順位ヲ示セリ。

前記ノ成績ヲ數年ヲ經過セル各地域ノ成績ト比較スルニ、東京市ト隣接五郡トハ其地位全ク顛倒シ、隣接五郡ニ於テ府死亡ノ過半数ヲ占メ、五地域中ノ第一位ヲ示シ、東京市ハ第二位ニアリ、他ノ三地域ハ其ノ順位ニ變化ナク、多摩三郡、八王子市ハ死亡率ヲ減セルモ、島嶼ニアリテハ増率セルヲ見ルベシ。

地域別	自大正八年 至大正九年 二ケ年平均		自大正十三年 至大正十五年 三ケ年平均	
	乳兒死亡數	對合計千分率	乳兒死亡數	對合計千分率
東京市	10,131	54.6%	7,133	50.2%
隣接五郡	6,463	34.9%	10,356	73.0%
多摩三郡	1,696	8.9%	1,996	14.1%
八王子市	390	2.1%	1,661	11.8%

島 嶼 一六五 一〇〇〇〇 一六五 一〇〇〇〇  
 合計 一六五 一〇〇〇〇 一六五 一〇〇〇〇

東京市ノ各區ニ於ケル狀況ヲ見ルニ、本所、淺草、深川ノ三區ハ何レモ一〇割以上ノ高率ヲ示シ、就中本所區ハ一・五割ニシテ十五區ノ最高位ニアリ、最モ低率ナルハ麴町區ニシテ〇・一六割ノ少率ナリ、而シテ最高率ノ本所區ハ實ニ最低麴町區ノ十倍ニ相當スルノ高率ニアリ。

各區ヲ住宅、商業、混合、工業ノ四地區ニ分チテ觀察スルニ、住宅地區ニ包括セラル、七區ノ平均率ハ〇・三八割ニシテ、住宅地區中ノ平均率ヨリ高キハ小石川、本郷、牛込ノ三區ナリトス、商業地區ニ屬スベキ三區ノ平均率ハ〇・五三割ニシテ、此ノ地區中平均率ヨリ低キハ日本橋區ナリ、他ノ二區ハ共ニ平均率ヨリ高キヲ見ル、混合地區トシテノ三區平均率ハ一・〇一割ヲ示セリ、本地區中淺草區ハ此ノ平均率ヨリ高キモ他ノ二區ハ平均ヨリ低率ナリ、工業地區ト認ムベキ二區ノ平均率ハ一・三六割ニシテ、此ノ平均率ヨリ低キ深川區スラ一・一二割ノ高率ヲ示セリ。

上記ヲ爾後ノ三ヶ年平均成績ト比較スルニ次表ノ如ク、各區ニ於ケル死亡順位ニ多少ノ變化アルモ、大體ニ於テハ著シキ相違ヲ認メズ、且各地區別ニ見タル成績亦略相類似セリ、即チ十五區中淺草、本所、深川ノ三區ハ何レモ一〇割強ノ高率ニシテ、最モ低率ナルハ麴町區ナリトス、此ノ最低ナル麴町區ト最高淺草區トハ六・五倍ノ差アルヲ見ル、各地區別ニ於ケル順位亦前記ニ同ジキモ、其率ニ多少ノ増減ヲ示セリ、而シテ前後ノ調査ヲ通ジテ住宅、商業ノ二地區ハ共ニ、混

合、工業ノ二地區ニ比シ、其ノ半ニモ達セザルノ低率ヲ示セリ。

地區	區別	自大正八年二ヶ年平均		自大正十三年三ヶ年平均		
		乳兒死亡數	對合計千分率	乳兒死亡數	對合計千分率	
住宅地區	麴町區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	麻布區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	赤坂區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	牛込區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	四谷區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	小石川區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	本郷區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	平均	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
商業地區	神田區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	日本橋區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	京橋區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	平均	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	混合地區	芝區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
		下谷區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
		淺草區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
		計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
平均		一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
計		一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
工業地區		本所區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
		深川區	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
		計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
		平均	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
	計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	
	合計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五	

隣接五郡ニ於ケル各郡ノ死亡狀況ヲ見ルニ、北豊島郡三・二七割、南葛飾郡二・一八割、荏原郡二・一一割、豊多摩郡一・

八一割ノ順位ニシテ、南足立郡ハ僅ニ〇・六四割ニ過ギザルノ少數ナリトス。

後期調査ノ成績順位ト比較スルニ、第一位ハ北豊島郡ニシテ、荏原、南葛飾ノ二郡ハ位地ヲ轉ゼリ、第四、五位ハ前記ト同ジク豊多摩郡、南足立郡ノ順位ナルヲ見ル。

郡 別	自大正八年二ヶ年平均		自大正十三年三ヶ年平均	
	乳兒死亡數	對合計千分率	乳兒死亡數	對合計千分率
荏原郡	一六五	一・〇六	一六五	一・〇五
北豊島郡	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
南足立郡	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
南葛飾郡	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
合計	一六五	一・〇六	一六五	一・〇五

多摩三郡ニ於ケル各郡ノ死亡狀況ハ、北多摩郡ハ四・〇四割ニシテ第一位ニアリ、西多摩郡ハ三・一九割ヲ示シ、第三位ハ南多摩郡ニシテ二・七七割ヲ示セリ、而シテ後期ノ調査成績亦前調査ト同一順位ニアリ。

郡 別	自大正八年二ヶ年平均		自大正十三年三ヶ年平均	
	乳兒死亡數	對合計千分率	乳兒死亡數	對合計千分率
西多摩郡	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
合計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五

地域別	自大正八年二ヶ年平均		自大正十三年三ヶ年平均	
	乳兒死亡數	對人口千分率	乳兒死亡數	對人口千分率
東京市	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
合計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五

南多摩郡 四三 三七四 四三 三七四  
 北多摩郡 六四 四八三 六四 四八三  
 合計 一〇八 一〇〇〇 一〇八 一〇〇〇

人口ヨリ見タル死亡ノ分布

東京府ニ於ケル二ヶ年平均人口ハ三、五〇八、七二二人ニシテ、乳兒死亡數ハ一八、五九四人ナリ、而シテ人口千ニ對スル乳兒死亡率ハ五・三〇ヲ示セリ、五地域ニ於ケル乳兒死亡率ヲ觀察スルニ、八王子市ハ六・〇九ニシテ其率最モ高シ、多摩三郡ハ六・〇三、隣接五郡ハ五・七九ヲ示セリ、此等三地域ハ何レモ府平均率ヨリ高シ、而シテ東京市ハ四・九六、島嶼ハ二・七四ニシテ共ニ府平均ヨリモ低率ナルヲ見ル。

後期ニ於ケル成績ト比較スルニ、東京府平均ハ四・三三ニシテ前期ヨリモ其率低シ、之ヲ地域別ニ見ルニ、後期ニ於テ第一位ニアルハ隣接五郡ニシテ五・〇二ヲ示セルモ、後期ニ於ケル府平均ヨリモ低率ナルヲ見ルベシ、第二位以下ヲ順記スレバ、多摩三郡、八王子市、島嶼ニシテ、東京市ハ最モ低位ニアリ、即チ多摩三郡ハ前期後期共ニ第二位ニアルモ、他ノ四地域ニアリテハ其順位ニ變動アリ、而シテ島嶼ヲ除キタル四地域ハ、前期ニ比シテ後期ハ其率ヲ低下セルモ、島嶼ハ後期ニアリテ前期ヨリモ高率ヲ示セリ。

地域別	自大正八年二ヶ年平均		自大正十三年三ヶ年平均	
	乳兒死亡數	對人口千分率	乳兒死亡數	對人口千分率
東京市	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五
合計	一〇	一・〇六	一〇	一・〇五

隣接五郡	12,461	6,521	平均	11,040	10,766	平均	5,031
多摩三郡	2,646	1,666	平均	2,066	1,842	平均	4,776
八王子市	5,866	3,000	平均	4,066	1,966	平均	4,456
島嶼	2,556	2,556	平均	2,556	2,556	平均	4,456
計	25,529	12,803	平均	18,100	16,586	平均	4,456

東京市ニ於ケル二ヶ年ノ平均人口ハ二、〇四五、七九七人ニシテ、乳兒死亡數ハ一〇、一五一一人ナリ、人口千ニ對スル乳兒死亡率ハ四・九六ヲ示セリ、之ヲ各區別ニ見ルニ、市平均率ヨリ高キハ、本所、深川、下谷、淺草、小石川ノ五區ニシテ、他ノ十區ハ何レモ市平均ヨリ低率ナリ、就中麴町區ハ最モ低率ニシテ二・七八ヲ示シ、最モ高率ナル本所區ノ六・六四ニ比シテ實ニ半數ニモ達セザルノ狀況ニアリ、更ニ地區別ニ見ルニ、商業地區ハ三區平均四・〇四、住宅地區ハ七區平均四・三四ニシテ、共ニ市平均ヨリ低ク、混合地區ハ三區平均五・二二、工業地區ハ二區平均六・六一ニシテ何レモ市平均ヨリ高率ヲ示セリ。

後期調査ノ成績ト比較スルニ、東京市平均率ハ三・六七ニ

シテ、前期ノ調査成績ヨリ低下セルヲ見ルベシ、各區別ニ見ルニ、本所、深川、淺草、下谷、四谷ノ五區ハ市平均率ヨリ高シ、四谷區ヲ除キタル四區ノ高率ナルハ、前期ノ調査成績ト同一ニシテ、前期ニ於ケル小石川區ガ後期ニ於テ四谷區ニ代リタルヲ唯一ノ相違點ナリトス、而シテ最モ低率ナルハ赤坂區ノ二・三二ニシテ、前期ノ麴町區ニ代リ、後期ニ於ケル最モ高率ナル本所區ハ四・七八ニシテ、最モ低位ナル赤坂區ノ倍率ヲ示セリ、更ニ地區別ニ見ルニ、後期ニ於テ東京市平均ヨリ高キハ混合、工業ノ二地區ニシテ、住宅、商業ノ二地區ハ市平均ヨリ低ク、前期ノ調査成績ト一致セリ、各區及ビ各地區全體ヲ通ジテ乳兒死亡率ハ前期ニ比シ後期ニ於テ低下セルヲ認メ得ベシ。

地區區別		自大正八年二ヶ年平均		自大正十三年三ヶ年平均		
住宅地區	人口	乳兒死亡數	對人口千	人口	乳兒死亡數	對人口千
麴町區	2,646	26	2.76	2,646	10	2.66
麻布區	4,646	46	4.66	4,646	20	4.29
赤坂區	2,146	17	1.77	2,146	17	1.77
四谷區	2,646	26	2.66	2,646	26	2.66
牛込區	2,646	26	2.66	2,646	26	2.66
計	12,461	128	10.31	12,461	128	10.31

地區區別		自大正八年二ヶ年平均		自大正十三年三ヶ年平均		
商業地區	人口	乳兒死亡數	對人口千	人口	乳兒死亡數	對人口千
神田區	13,166	131	4.66	13,166	131	4.66
日本橋區	10,000	100	2.80	10,000	100	2.80
京橋區	12,000	120	4.00	12,000	120	4.00
計	35,166	351	10.00	35,166	351	10.00
混合地區	人口	乳兒死亡數	對人口千	人口	乳兒死亡數	對人口千
芝區	16,666	166	4.00	16,666	166	4.00
下谷區	15,000	150	5.00	15,000	150	5.00
淺草區	12,000	120	4.00	12,000	120	4.00
計	43,666	436	5.33	43,666	436	5.33
工業地區	人口	乳兒死亡數	對人口千	人口	乳兒死亡數	對人口千
本所區	12,000	120	6.00	12,000	120	6.00
深川區	12,000	120	6.00	12,000	120	6.00
計	24,000	240	6.00	24,000	240	6.00
合計平均	120,000	1,200	10.00	120,000	1,200	10.00

隣接五郡ニ於ケル二ヶ年ノ平均人口ハ一、一一四、八八一ニシテ、乳兒死亡數ハ六、四五二人ナリ、人口千ニ對スル乳兒死亡率ハ五郡平均五・七九ヲ示セリ、之ヲ各郡別ニ見ルニ、南葛飾郡ハ七・二三ニシテ第一位ニアリ、之ニ次グハ南足立郡ノ六・八一、北豊島郡ノ五・九九ノ順位ニシテ、三郡ハ何レモ五郡ノ平均率ヨリ高シ、荏原郡ハ五・六五、豊多摩郡ハ四・三

六ニシテ共ニ五郡平均ヨリ低率ナルヲ見ルベシ。後期ノ調査成績ト比較スルニ、各郡ニ於ケル乳兒死亡率高低ノ順位竝五郡平均率ニ比シテノ高下共ニ前期ノ調査ト同一ナルモ、前期ハ後期ニ比シテ其ノ死亡率ハ各郡共ニ高率ヲ示セリ。

郡別		自大正八年二ヶ年平均		自大正十三年三ヶ年平均		
荏原郡	人口	乳兒死亡數	對人口千	人口	乳兒死亡數	對人口千
荏原郡	120,000	1,200	10.00	120,000	1,200	10.00
計	120,000	1,200	10.00	120,000	1,200	10.00